

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：ベネッセ 武蔵小杉保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：関 寿美恵	定員（利用人数）： 60名（59名）
所在地：〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー3階	
TEL：044-430-0203	
ホームページ： https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日	2009年5月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）	株式会社 ベネッセスタイルケア子ども・子育て支援カンパニー		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員： 11名	
専門職員	保育士 19名	看護師 1名	
	管理栄養士 2名	調理師 2名	
施設・設備	(居室数)	(設備等)	
の概要	保育室4室、事務室1室、医務室1室、厨房1室、職員休憩室1室、予備室	高層マンション併設の施設です。保育園は3階にあり、エレベーターを日常利用しています。テラスがあります。	

ベネッセ武蔵小杉保育園は、JR南武線及び東急東横線の武蔵小杉駅から歩いて2分ほどの高層マンションの3階にあります。園は高層マンションや大型商業施設が立ち並ぶ中にありますが、徒歩圏には自然豊かな公園や企業の公開空地があり、子どもたちの散歩コースとなっています。園は、2009年（平成21年）5月、株式会社ベネッセスタイルケアによって設立されました。法人の保育事業では、首都圏を中心として保育園を多数運営しています。マンションの3階にありますが、観葉植物を設置したり季節の装飾をしたりし、家庭的な雰囲気となっています。テラスがあり、夏には子どもたちが水遊びを楽しんでいます。片隅では、プランターで季節の花や野菜を育てています。定員は60人（0歳児～5歳児）、開園時間は平日・土曜日ともに7時から20時です。

③理念・基本方針

【保育理念】

よりよく生きる力＝（Benesse）の基礎を育てる

いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます

【保育目標】

- 自分で考え、すすんで行動する子ども
自分からすすんで物事に取り組む態度を持ち、意欲をもって最後までがんばる子ども
- 友だちと楽しく遊ぶ子ども
さまざまな人とかわることの喜びを知りながら、楽しく遊べる子ども
- 感性豊かな子ども
さまざまな発見と感動を味わいながら、自分らしさを表現できる子ども

【保育方針】

- ① 子どもの「個性と人格を尊重」し、主体性を育てます
- ② 自然な生活の営みの中で、子どもが「安定感・安心感・落ち着き」をもてる室内環境をつくります
- ③ 深い信頼関係に根ざした「豊かな人とのかかわり」を重視します
- ④ 身のまわりの「社会・自然を通しての学び」を大切にします

【保育の姿勢】

その子らしく伸びていくことを応援しています。保育者は光、水、土でありたいと考えています。

④施設・事業所の特徴的な取組

【乳児期】

人間に対する信頼感を育てるために、担当制や少人数グループ制を取り入れて、一人ひとりの子どもに温かく丁寧に関わるようにしています。0歳児は特に家庭的な雰囲気を大切にし、授乳・離乳食を一人ずつ提供し、目と目を合わせた授乳を心掛けています。

【幼児期】

異年齢グループで生活しています。楽しく遊びながら子ども自身が、自分の力を発揮できるようにしたり、助け合ったり競争したり、模倣したりしながら多くのことを学習し、子ども同士で育ち合っていく環境を作っています。

【環境の作用】

園庭のテラスは運動活動で制約が出るので、天気がよければ、午前中は、近隣の広場や公園で活動します。0～1歳児はベビーカーやバギーを使用し、2歳児以降は歩行移動になります。目的地まで友だちや異年齢のペアで手をつなぎ、往復安全面で気を付けながら、歩く力をつけていきます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月19日(契約日)～2024年2月8日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

●保育士に優しく見守られ、主体的に園生活を過ごし、成長しています

園では、子どもが自主的、自発的に行動できるように、人的・空間的環境を整えています。保育室は、子どもの生活の流れに沿って生活や遊びの環境が整えられていて、子どもが自分で何をするかを理解し、見通しを持って取り組めるようになっていきます。子どもの年齢や発達に合わせて、文字や絵、図などを用いた分かりやすい表示がされていて、子どもが視覚的にも理解できるように工夫されています。乳児は、担当制を取り、食事などの生活面を特定の保育士が担当することで、子どもが安心して園生活を過ごせるようにしています。保育士に優しく見守られ、やりたいという気持ちを受け止めてもらい、子どもたちは少しずつ自分のことを自分でできるようになっています。幼児は、異年齢のクラスとなっていて、一緒に生活する中で、お互い刺激し合い、違いを認め合っています。保育士は、子ども一人ひとりに寄り添い、子どもの思いを代弁したり、年齢や発達に合わせた言葉掛けをすることで、子どもが自分で考えて、思いを言葉で伝え、行動できるように働きかけています。幼児は、友だちの前で自分の考えを発表したり、子ども同士で話し合って行事の内容を決めたりしています。行事は、子どもの遊びや興味・関心を発展させて行っていて、5歳児が日々の映画館ごっこを発展させて夏祭りで映画館を行い、物語や役などを自分たちで考えて披露したなど、子どもの自由な発想を大切にしています。このように、遊びながら友だちと一緒に様々な経験をすることで、子どもたちは達成感や自己肯定感を感じ、成長しています。

●保護者が園の取り組みを理解し、安心して子育てができるようにしています

園では、保護者が園の取り組みを理解し、安心して子育てができるよう、園内研修で保護者の気持ちになって考えたり、分野別リーダー会議で保護者・家庭支援について検討するなどの取り組みをし、園全体で保護者との信頼関係作りに取り組んでいます。保育アプリの連絡帳で子どもの様子について情報交換するとともに、朝夕の送迎時には、職員はそれぞれの立場で保護者に声をかけて子どもの園での姿をエピソードとともに伝えていきます。その日のクラスの様子は、幼児は毎日、乳児は週に2回写真を添えたドキュメンテーションで配信しています。廊下に全クラスのドキュメンテーションを掲示し、子どもの姿が「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」のどの目標に該当するかを表示したり、行事前には、行事の内容や子どもの取り組み状況などを紹介するなど、保護者に積極的に情報提供することで、保護者が園への理解を深められるようにしています。このような様々な取り組みを通して保護者とコミュニケーションを取り、意見交換することで保護者との信頼関係が築かれていることが、今回の保護者アンケートの総合的な満足度からも読み取れます。

【今後に期待される点】

●地域の施設として、地域との関係性を深めていくことが期待されます

園長は、中原区の園長会や地域子育て支援担当者連絡会などの会議に参加し、地域の課題や福祉ニーズを把握しています。地域との関わりとしては、子どもたちが散歩や買物で地域住民とあいさつや会話を交わしているものの、地域交流の機会が少なく課題となっています。今年度、武蔵小杉駅北口の花壇づくりプロジェクトに参加し、子どもたちが花壇の花植えをしたことを受け、園では、取り組みをさらに深めて地域住民と交流していきたいと考えています。また、園見学の参加者との会話や事前アンケートから地域の子育て支援のニーズを把握しているものの、それを分析して地域向けに子育て支援は実施することはしていません。地域に園の存在を知ってもらうことは、子どもの社会性を広げるだけでなく、災害時の協力や将来的な園児の確保など運営上でも大切です。地域の子育て支援イベントに保育士を派遣したり、公園で一緒に遊ぶ機会を作るなど、外に出ていくことから始めていき、園の専門性を地域に還元することが期待されます。

⑤ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の受審では、全職員の参加のもと、多岐に渡る保育の視点について自園を見つめる大変貴重な機会となりました。

日頃の運営の中で、立場により様々な捉え方と視点があることが明らかになり、その意見を反映させて自己評価したものと、第三者評価をしていただくことで、園の保育の強み、弱みについて、また、保育園として社会的に果たす役割という観点からも、見つめ直すことができました。

今後に期待される点としてあげていただいた、地域との関係性を深めるという点こそ、保育園としての社会的な役割の大きな部分であるので、地域に貢献と還元できるよう実行し、期待に応えられるようにしていきたいと考えています。また、保護者の皆様に、アンケートを通し、貴重なご意見をたくさん頂戴しました。信頼していただいているお気持ち、不安のお気持ち、どちらも職員一同でうけとめ、よりよい園となるよう邁進してまいります。保護者アンケートのご協力に、感謝申し上げます。

ベネッセ 武蔵小杉保育園 園長 関 寿美恵

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり